

のざき ひょうたんやま
JR学研都市線野崎駅 (大東市) ~ 近鉄奈良線瓢箪山駅 (東大阪市)

歩行距離 8km
 標準歩行時間 2時間
 標準所要時間 4時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

野崎まいり公園から街道を再び進むと、弘法大師が休憩したメノコ橋の欄干石が街道の右手側にだけ残っています。これを過ぎると車の多いことから、石切駅から枚岡神社を経由する、生駒山麓西麓のコースがおすすめです。ゆとりがあるなら、こちらのコースを進み、昔の面影を楽しみながら、山麓沿いの集落の中を抜けていくのもおすすめです。



しげんじ のざきかんのん
慈眼寺 (野崎観音)

正式な名称は曹洞宗福聚山慈眼寺と言います。平安時代中頃、摂津の江口の君という遊女が、自身の病氣平癒のため祈願したところ病気が治ったので、感謝の気持ちを含め、お堂を現在の地に再建したのが始まりとされています。その後、戦乱により荒廃したものの、近世の初頭頃に青嵐(せいがん)という僧侶により再建され、五世大真和尚の時に、野崎参りが盛んとなり「観音さん」で親しまれるようになりました。



ぼし らんかんせき
メノコ橋の欄干石

弘法大師がこの道を通った際、当地に10日間ほど滞在され、この橋の欄干を枕にして休息したことから、メノコ橋と名称が付けられ、それがいつの頃からメノコ橋と呼ばれるようになったと伝えられています。今は欄干石だけが残っています。



いしきりしんじ
石切神社

地元の人々には「石切さん」と呼ばれ、石切剣箭神社とは石を切る鋭い剣や矢を意味しています。腫れ物を治す神様として全国的にその名を知られている古い社です。本殿前の樹齢約470年のくすの木は、東大阪市の天然記念物です。



スタート地点までの電車情報			
大阪 分岐	京橋駅	JR片町線・快速	約13分
京都 分岐	原田辺駅	JR片町線・快速	約22分
帰りの電車情報			
大阪 分岐	瓢箪山駅	近鉄奈良線・区間準急	約20分
奈良 分岐	瓢箪山駅	近鉄奈良線	約6分
	石切駅	近鉄奈良線・急行	約13分
	大和寺大駅		

